

持ち、富士重も2013年には現地生産への再参入を目指している。中国では独自のブランド立ち上げや現地向け製品開発拠点設置など、日本メーカーにとって最も重要な投資先となっており、世界最大の自動車需要を背景に当面高水準の投資が続く見通しである。
ロシアでは2011年9月現在、トヨタ、日産、三菱自、いすゞ、三菱ふそう(委託)が生産増出している。トヨタは

2007年12月にCanaryを現地生産開始したが、現地需要トランドがB/Cクラスに移行したため工場稼働率が低迷。トヨタは2012年春をめどに極東VladivostokでLand Cruiser Pradoの生産開始を計画し、SUVの現地生産を強化。SUVは高収益で現地での人気が高い半面、ロシア政府が西欧のようなCO₂規制を打ち出すと対応が難しくなる。トヨタは将来、低価格小型車の投入も検討して

おり、規制強化が投入決定の契機となる可能性もある。日産も2011年4月にMurano Crossover(SUV)を生産開始する一方で、Datsunブランド低価格小型車(田March ベース)を投入することを検討。三菱自やマツダ、いすゞ、ホンダも現地での生産立ち上げや能力増強を計画している。またロシア政府は2011年3月を運用申請期限として、外資自動車各社に対する国産優遇

措置の適用基準を厳格化。部品輸入関税率 0%の適用に必要な条件を、国内年産規模2.5万台から30万台以上に、現地部品調達率を30%から60%に引き上げた。2011年内に現地最大手 AvtoVAZ に資本参加予定の日産を除き、年産30万台体制を早期に整備するのは困難と見られ、ロシアでの現地生産事業は国産ブランドや欧米ブランドとの厳しい価格競争が予想される。

【日本自動車メーカー12社、国別自動車生産能力計画(2005~2010年度実績、2010~2015年度能力計画)】(単位:万台)

メーカー	国	2005年実績	2006年実績	2007年実績	2008年実績	2009年実績	2010年実績	2011年計画	2012年計画	2013年計画	2014年計画	2015年計画
北米	米国	1,229,146	1,201,892	1,296,208	1,027,555	782,744	856,597	1,100,000	1,250,000	1,250,000		
	カナダ	305,966	317,433	302,749	287,394	319,547	458,729	420,000	420,000	420,000		
	メキシコ	23,696	33,209	32,492	49,879	42,696	54,278	50,000	50,000	50,000		
	ブラジル	57,356	57,991	55,974	66,983	62,713	63,729	70,000	70,000	140,000		
	ロシア	46,111	16,334	46,043	44,339	62,111	70,032	70,000	90,000	50,000		
	中国	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	インド	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	インドネシア	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	タイ	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	フィリピン	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	ベトナム	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	その他	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
欧州	中国	144,435	285,427	459,289	566,187	610,978	779,377	870,000	870,000	960,000		
	台湾	139,728	96,835	98,606	65,619	90,861	117,707	160,000	160,000	160,000		
	タイ	416,942	469,395	501,742	577,503	435,895	630,712	550,000	650,000	650,000		
	インドネシア	169,178	122,229	172,436	228,001	198,048	265,152	110,000	110,000	110,000		
	マレーシア	92,974	89,274	67,643	76,720	64,282	69,728	60,000	60,000	60,000		
	フィリピン	16,405	15,479	16,129	22,020	22,318	27,999	25,000	25,000	25,000		
	ベトナム	11,813	14,784	20,113	24,562	30,110	31,135	25,000	25,000	25,000		
	インド	45,695	44,310	52,202	52,691	52,587	75,679	150,000	150,000	210,000		
	パキスタン	28,413	34,893	36,389	29,155	36,839	46,658	50,000	50,000	50,000		
	ペルー	300	300	300	300	300	300	300	300	300		
	チリ	109,212	111,465	146,931	141,667	101,721	119,332	150,000	150,000	150,000		
	南アフリカ	143,162	142,251	145,779	186,218	106,811	123,430	220,000	220,000	220,000		
南アフリカ	1,462,771	8,130,759	8,544,349	8,130,482	6,343,343	7,567,403	8,486,333	8,756,333	8,791,333			
南アフリカ	143,178	142,251	145,779	186,218	106,811	123,430	220,000	220,000	220,000			
ドイツ	日本	724,509	791,291	786,601	793,257	684,255	665,177	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
	中国	1,653	287	2,589	4,775	2,225	-	-	-	-		

【日本自動車メーカー12社、国別自動車生産能力計画(2005~2010年度実績、2010~2015年度能力計画)】(つづ)

2013年	2014年	2015年	生産車種	備考	国				
1,250,000	1,250,000	1,250,000	Corolla, Camry, Canby HV, Avalon, Venza, Highlander, Sequoia, Sienna, Venza	2010年3月にMMMM生産終了。2011年秋にMMMM稼働予定。富士重工へのCanby委託は富士重工に引き継がれる。	米国				
420,000	420,000	420,000	Corolla, Matrix, Lexus RX, RAV4	2010年3月に工場2工場を15万台へ引き上げ、将来的に工場に40万台を投資。設備更新、生産効率向上、環境対策が実施される。	カナダ				
50,000	50,000	50,000	Tronox	小気車を生産する新工場建設を計画。	メキシコ				
220,000	220,000	220,000	Corolla, Corolla Fielder, Elise(予定)	2012年に新工場稼働予定。当初は15万台で稼働し、その後増設が予定されている。	ブラジル				
46,111	16,334	46,043	44,339	62,111	70,032	70,000	90,000	50,000	ロシア
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	中国
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	インド
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	インドネシア
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	タイ
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	フィリピン
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	ベトナム
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	その他
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	中国

日本自動車メーカー12社の世界国別生産能力計画を一覧

発刊のご案内

日本自動車部品メーカーの新興国戦略

新興国で生産増強とともに開発・調達機能の現地化を加速

■ 発刊: 2011年11月 ■ 体裁: A4判、232頁+CD ■ 価格: 95,000円(税込99,750円) 国内送料込



- ◆ 主要日本部品メーカー155社の成長戦略を新興国戦略中心に分析
 - 大手システムサプライヤー45社の新興国戦略、新成長戦略を分析(第3章)
 - 主要專業部品・素材・金型メーカー110社の成長戦略を俯瞰(第4章)
- ◆ 日本自動車メーカーの新興国戦略をレポート
 - 日本自動車メーカー10社の新興国生産戦略、新興国戦略車の開発戦略を分析
 - 日本自動車メーカー12社の2015年までの世界生産能力計画を一覧
- ◆ 日系部品メーカーの海外約4,000拠点のダイレクトリーをCDに収録
 - Excel形式で住所、コンタクト先、事業内容、従業員数など基礎情報を一覧

日本自動車部品産業は、世界不況時に生産現場での余力を品質向上や効率性向上への取り組みに振り分け、徹底した事業スリム化を推進した結果、2010年度には利益水準が大幅に回復。収益回復を受け、2011年度以降は過去2年間の徹底した投資抑制から再び成長戦略に転換しています。特に不況時にも需要が堅調で、2010年も自動車市場が過去最高を更新し続ける中国やインド、ブラジルといった新興国に投資を重点配分しています。各地域の役割明確化も重要となり、日本はマザー拠点として先端技術開発の中核を担い、欧米は最新の環境・安全規制等に対応した技術開発を、アジアは現地ニーズを反映した新興国向け低価格製品の開発を担うことで、「新興国」、「環境」の2大テーマを軸とした新たな成長戦略への投資を効率的に行うことができます。

本調査資料は、2010年代中盤に向けた新たな成長戦略に舵を切る日本自動車部品メーカー各社の経営戦略を、新興国戦略を中心にまとめながら、収益動向、国内外での生産・開発動向、新製品・新技術などの新たな成長事業の育成動向をレポートし、日本自動車部品メーカー各社の世界成長戦略を分析しております。

本案内書をご高覧頂き、関係部署とも相談の上、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

【日本自動車部品メーカー、2011年前後より、新グローバル戦略で成長への投資を再開】

2011年以降

- ・事業のスリム化に一定のめどがつき、黒字を確保できる収益体質を構築
- 過去2年間は投資抑制が最大のテーマであったが、再び成長戦略に転換
- 新たな中期経営計画で**新興国と環境**を2大テーマに設定し投資拡大

＜新たな地域別投資戦略＞

- ◇ 日 本: 高効率生産ラインへの刷新
- ◇ 北 米: 市場回復に対応して投資
- ◇ 西 欧: 投資縮小
- ◇ アジア: 最重点投資先
- ◇ 中南米
- ◇ その他: 自動車メーカーの生産進出に対応地域

＜開発機能の地域別役割＞

- ◇ 日 本: 先端技術開発、高効率生産技術開発
- ◇ 欧 米: 最新の環境/安全規制等への適応技術開発
- ◇ アジア: 現地ニーズを反映した新興国向け低価格製品の開発

＜東日本大震災後の国内生産/調達方針の変化＞

- ◇ 分散発注していた部品も、川上では同一部材メーカーから仕入れていたことが判明
- ◇ 製造拠点の分散化は国内だけでなく海外拠点も含めた分散化へ
- ◇ カスタム品も見直し、汎用品に切り替える動き

(FOURIN)

「第1章 日本自動車部品産業の新成長戦略」より

申込方法

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mail (info@fourin.jp) による受付も行っております。

世界自動車産業専門調査会社

FOURIN (フォーイン)

〒464-0025 名古屋市中千種区桜が丘292 フォーインビル

TEL : 052-789-1101 FAX : 052-789-1147

http://www.fourin.jp E-mail : info@fourin.jp

申 込 書

日本自動車部品メーカーの新興国戦略 (HP)

● 体裁:A4判/232頁+CD ● 2011年11月発刊

価格 95,000円 (税込 99,750円)

国内送料込

(株)フォーイン 行 フリール ダイヤル Fax: 0120-0000-73

年 月 日

御 社 名 _____

御 利 用 部 署 名 _____

〒 _____

御 住 所 (送 付 先) _____

T E L 番 号 _____ F A X 番 号 _____

E-mail address _____

(フリガナ) 御 担 当 者 氏 名 _____ 御 役 職 _____

通 信 欄 _____

